菊朋会本部の皆様

令和８年度菊朋会総会の開催おめでとうございます。

東京支部も 9 月 12 日の総会開催に向けて準備を進めているところです。

本部の皆様には日頃から菊池高校、菊池市の関連情報を随時配信頂きありがとうございます。

頂いた情報は菊朋会東京支部でも多くの会員に配信させていただいています。

特に先だって TV 朝日放送のフランスの画家バルテュス夫人節子さんの反響は大きく旧姓が出田節子さんで、なるほど菊池ゆかりの方だなと思うと同時に菊池の誇りを感じました。

私たちの母校、菊池高校は長い歴史と伝統を誇る県立高校であり、多くの優れた人材を輩出してきましたがここ数年の新入生数を知ったとき理由はともあれ憂慮すべき状況と思わざるをえません。

そうした中、昨年は東京支部、濱口さんから防災の専門コースを設けてはどうかという意見も出されました。

私も個人的には TSMC の即戦力となる人材育成高校として先端技術科を新設して就職が保証された技術習得の学校にしてはどうかとか農業高校では水田の地下水を TSMC に循環する仕組みを提言し豊かな自然と最先端技術が融合した街創りを TSMC に提言してみてはどうかと思ったりします。

菊朋会としても既存の枠にとらわれず、環境変化の中で菊池高校がどう変貌していくべきかを考え、吟味したうえで関係機関への働きかけを続けて行くことが喫緊の課題かとも思もいます。

各支部でそれぞれの経験や知識を活かし、「入学したくなる高校」を目指して知恵を絞っていきましょう。

菊朋会東京支部

会長　立山健治